

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 7 回

開催日時	平成27年11月17日(火) 午後6時00分～8時37分	
開催場所	若宮小学校 家庭科室	
出席者	委員	伊藤英男、杉浦聡、北村勝、国定明美、関根仁美、小泉里幸、和泉智乃、長尾久仁子、風見尚征、福嶋晴美、林朱実、澤村美和子、長岡知恵、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、川嶋正昭、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	その他	教育委員会事務局副参事(子ども教育経営担当) 北部すこやか福祉センター所長 北部すこやか福祉センター地域子ども施設調整担当係長
	事務局	学校再編担当
会議次第	【議事】 1 統合新校の校名について 2 その他	

第7回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第7回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。

事務局の説明を求める。

事務局

統合新校の新校舎には、地域開放型学校図書館やキッズ・プラザを新たに整備することとなるが、本日はそれぞれの担当より、現時点における考え方などを説明してもらう。説明内容を踏まえ、新校舎の整備内容を検討していくこととなる。

(1) 地域開放型学校図書館について

■資料「いつでも誰でも本が手にできる～地域開放型学校図書館による読書環境づくり～」について、教育委員会事務局副参事(子ども教育経営担当)から報告(概要)

1 基本的な考え方

- ・児童生徒の豊かな心を育むため読書環境の充実と主体的な学習活動の支援
- ・地域における子ども・親子の読書活動の拠点
- ・区民が身近な学校で区立図書館サービスを利用できる

2 期待される効果

- 区立図書館と直結したレファレンスサービス
 - 子ども読書活動の拠点
 - 地域に親しまれる学校
- 3 取組のポイント
- 日常的な利用しやすさに配慮
 - 利用したくなるような魅力的な空間に
 - 誰にでも使いやすく分かりやすい
- 4 効果的に利用するための工夫等
- 児童生徒の学習環境や安全面に十分配慮した施設配置、管理体制を確保し、学校運営と一体的な運営を図る。
 - 乳幼児親子をはじめ区民が気軽に立ち寄り、快適に利用できる空間とするなど、使いやすく開放感のある施設とする。
 - 学校用図書に加え、一般図書の充実を図るなど魅力的な蔵書構成とする。

委員長

資料について説明があったが、質問等あるか。

委員

広さはどれぐらいなのか。

区担当

なるべく広いスペースを確保したいが、普通教室など学校として確保しなければならないものがあるため、学校全体のバランスになると思っている。現時点で具体的な広さは決まっていないが、現在のスペースである普通教室2.5教室分は確保したい。

委員

図書館だけゆとりがあっても意味がないと思う。良い取組みだと思うが、児童数が増えていく中で普通教室も確保しなくてはならない。そういったことを考慮して進めて欲しい。

区担当

教育環境を整備し、児童の学習環境を確保することが大前提だと思っている。その上で図書館を地域の方にも広く利用してもらえるようにしていきたい。

委員

他の学校で地域開放型学校図書館を導入した際の課題などがあれば教えて欲しい。

区担当

中野区の学校で地域開放型学校図書館を導入している学校はない。今回、統合新校の新校舎整備にあわせて新たに導入していく。

委員

もし、児童数が多くなって想定しているスペースが確保できなかった場合であっても、地域開放型学校図書館は導入するのか。

区担当

学校図書館は必ず確保しなければならないものであり、確保した上で管理体制を整え安全面に配慮するなど地域に開放するに当たっての諸条件をクリアし導入することになる。広いに越したことはないが、限られたスペースの中で、学校教育に妨げのない範囲で地域の方にも利用してもらえるよう工夫していく。

委員

外部から誰でも学校に入ってきて図書館を利用できるということになると、子どもたちの安全面が不安である。

区担当

子どもたちの安全についても十分考慮していく。

委員

所沢の小学校で地域開放型の図書館を導入しているようだが、利用する人を限定することや事前登録制にするなどの工夫をしている。利用方法など現時点でどのように考えているのか。

区担当

利用方法や利用条件などの詳細については、これから検討していく。

委員

新校舎に整備するのであれば、在校生の子どもたちが自慢できる設備にして欲しい。デザインや機能性など子どもたちにとって心が躍るような空間であって欲しいし、そのことが定着していけば、近隣の乳幼児なども図書館を楽しみに学校に来ると思う。

区担当

まずは児童・生徒が図書館に行きたいと思うような魅力的な空間にしていきたいと考えている。図書の実充もあわせて図り、総合的に魅力のある空間にしていきたい。

委員

平日の授業時間帯は学校が使用して、放課後に地域へ開放するというのか。

区担当

利用時間などについても今後検討していくが、学校運営に支障が生じない範囲内でできる限り地域の方にも利用しやすいようにしたい。

委員

地域開放型学校図書館の運営や管理はどこがやるのか。

区担当

学校図書館自体は、学校長の管理下であるが、開放するに当たっては、教育委員会としてもしっかりとした管理体制で運営できるよう考えていきたい。

委員

スペースが確保され人員も配置でき、学校運営に支障がないのであれば良いが、現在の大和小学校の校舎の規模でそれだけのものができるか不安である。今後、地域開放型学校図書館について統合委員会として意見を言うことは可能なのか。

区担当

校舎などのハード面について統合委員会に情報提供していく中で、地域開放型学校図書館についても意見を伺えればと思う。

委員長

統合委員会としても図書館がより良いものとなるよう意見を出し、そういった意見を踏まえ教育委員会は検討してもらいたい。

(2) 大和・若宮地域の地域子ども施設の再編について

委員長

続いて、「大和・若宮地域の地域子ども施設の再編について」の説明を求める。

■資料「大和・若宮地域の地域子ども施設の再編について」北部すこやか福祉センター所長から報告
(概要)

1 基本的な考え方

- ・すべての小学校内にキッズ・プラザと学童クラブを整備していく。
- ・統合が計画されている小学校は、仮校舎から新校舎に移転する年に新校舎内に開設する。
- ・児童館に併設の学童クラブは移転し、キッズ・プラザに併設する。

2 大和小学校と若宮小学校の統合に関して

- ・平成31年に大和小学校の位置で新校舎が完成し、キッズ・プラザを開設する。大和西児童館内の大和学童クラブが新校舎に移転する。
- ・キッズ・プラザ開設に伴い、大和西児童館と若宮児童館は廃止となるが、子育て支援拠点等現在の児童館が担っている機能は、地域内で実施を検討していく。

3 学童クラブの配置について

- ・現在、大和西児童館、若宮児童館に併設の区立学童クラブがある。
- ・平成31年度に大和西児童館併設の大和学童クラブは新校舎に移転し、若宮学童クラブは閉室となるが、若宮小学校区に民設民営学童クラブを開設する。
- ・需要予測に基づき、必要な定員を確保していく。

委員長

資料について説明があったが、質問等あるか。

委員

平成31年に大和小学校の位置で新校舎が開設される時にキッズ・プラザ併設の学童クラブと若宮小学校区内に民設民営学童クラブを開室するということだが、平成29、30年に関しては現行維持ということか。

区担当

基本的にはそのように考えている。

委員

子どもたちは新校舎ができるまでは若宮小学校の位置に通うこととなるが、その間は大和西児童館の学童クラブまで通うということか。

区担当

若宮小学校の位置に通っている間は、大和西児童館の大和学童クラブが存続しているため、その時点の学童クラブ利用者はそのまま利用していただくことが基本になると思う。

委員

小学校1年生にそこまでの距離を移動させるのも大変だから若宮児童館の学童クラブに入りたいという人が増えると思う。現時点でも学童クラブに入れない人がいるのに、その間の対応はどのように考えているのか。

区担当

基本的にはどちらの学童クラブを選択しても良いため、若宮小学校の位置に通っている期間に若宮学童クラブに通うことも可能である。ただし、定員があるため、全ての人が希望通りに入れるとは限らない。

それから、11月から待機児童対策として、現在の学童クラブのところで、ほぼ学童クラブに準じた形で月曜日も預かるという新しい事業を始めた。そういったことも見据えながらやっていきたいと考えている。

委員

その新しい事業も1年通してやっていないとわからないところもあると思うし、学童クラブに入れない子どもが生じる可能性についてはやはり不安がある。

区担当

現時点では来年の4月以降もそういった体制をとる予定であり、当面は対応できると考えている。

委員

学校に近いほうが良いという家庭もあれば、逆に、家に近いほうが良いという家庭もあると思う。そのため、学童クラブに関わる学年の家庭に対する事前のヒアリングと、そのニーズにある程度柔軟に答えられるような体制をとって欲しい。

区担当

要望として承る。

委員

子育て支援拠点と現在の児童館が担っている機能は実施を検討していくとあるが、その機能を実施する場所はどこになるのか。また、民設民営学童クラブをこの区域で確保することは、住宅が密集しており難しい部分もあると思う。そのため、若宮児童館を引き続き子育て支援拠点や学

童クラブに利用するほうが良いのではないか。

区担当

児童館はなくなるが、必要な機能は維持していかなければいけない。場所については未定であるが、地域の事情など総合的に考えて確保しなければいけないと考えており、児童館施設の利用などの可能性も含め検討していきたい。

委員長

それでは、今までの意見等も踏まえ進めて欲しい。

2 議 事

議事(1)統合新校の校名について

委員長

それでは議事に入る。「統合新校の校名について」事務局の説明を求める。

■資料「校名の絞り込み結果について」事務局から説明 (概要)

前回の協議では、応募のあった78の校名を30に絞り込み、その中から各委員が統合新校の校名にふさわしいと思ったものを選び提出してもらうこととなった。

委員が選んだ校名を集計した結果、校名の候補は19に絞り込まれた。なお、番号に網かけをしているものは、応募のあった校名に補足等を加えたものである。

校名の絞り込み結果

	校名	よみがな		校名	よみがな
1	青葉	あおば	11	花咲	はなさき
2	朝日	あさひ	12	春風	はるかぜ
3	大空	おおぞら	13	双葉	ふたば
4	かがやき	かがやき	14	ふたば	ふたば
5	(※)希望〇〇	きぼう〇〇	15	美鳩	みはと
6	協和	きょうわ	16	みはと	みはと
7	新星	しんせい	17	妙正寺	みょうしょうじ
8	せせらぎ	せせらぎ	18	妙正寺川	みょうしょうじがわ
9	大場	だいば	19	夢	ゆめ
10	太陽	たいよう			

(※)「希望〇〇」・・・「希望ヶ丘」や「希望の丘」の丘という字を、原や森などに替えたほうが良いという意見があった

委員長

委員が選んだ統合新校の校名について説明があったが、説明内容について何か質問等あるか。なければ、協議を進めていく。

現在、候補として19の校名があるが、どのように絞り込むか意見はあるか。

委 員

統合新校の校名は、新しい学校でどのような子どもたちを育てていくかという目標や思いなどとリンクしていないと意味がないのではないか。そういった先のことも見据えて絞り込んでいけば良いのではないか。また、校名は、校章として図案化されるなど利用範囲が広いから、一人一人がイメージをたくさん膨らませる必要があると思う。

委 員

委員の中には、この校名は嫌だという人もいると思うので、そういった意見も聞いてもらいたい面悪い面から検討したらどうか。

委員

この名前では嫌だというのではなく、この名前が統合新校にふさわしいという理由を聞いて取りまとめていく形が良いのではないか。

委員長

まず、今後どういう学校をつくっていくかという観点で、自分の思っている統合新校の将来像に合っている校名を1人ずつ発言していただきたいと思うがどうか。

委員

先ほどの意見のように先々のことも踏まえた上で、自分が選んだ名前に限らず改めてこの中から各委員の思いを聞ければ良いと思う。

委員

「協和」や「双葉」についてだが、子どもたちは将来に向かって新しい学校で過ごしていくこととなるため、二つの学校が一緒になるからという理由であれば候補から外しても良いのではないかと思った。

委員

今の意見についてだが、統合新校は両校が一緒になることが大前提であり、二つの学校が統合することから一歩や二歩踏み込んだ、その先の将来を見据えた名前のほうが良いと思う。

小学校は、自己を形成する人間の根幹が養われる時期であり、「青葉」は、子どもたちがしっかりと根を張って木になり、成長にあわせて葉が出て茂っていく姿がイメージできて良いと思った。子どもたちは青葉が茂るくらい伸び伸びと知識豊かに育ててもらいたいし、そのような学校になって欲しいと思った。また、校章など図案化もしやすいのではないかと思った。

委員

伝統の礎の上に立つということから、地名が学校の名前として残ることは地域を振り返ることにもなり良いと思い「大場」を選んだ。「せせらぎ」は、環境的なことと、子どもの持つ未来に向けた響きという意味で良いと思い選んだが、歌詞の一部というイメージがある。校名を校章や校歌に用いることを考えて、「大場」、「せせらぎ」の順で選んだ。

委員

私も「青葉」は、小さい子どもにもイメージがしやすいし、一番学びを吸収しやすい小学校の名前としてふさわしいと思った。「朝日」や「大空」も、これから伸びゆく子どもたちが未来に向けて育まれるようなイメージが持てると思い選んだ。また、地名を残すことから「大場」を選んだが、「おおば」とも読めてしまうところが少し欠点だと思う。

委員

私は「太陽」を推した。「朝日」は太陽のことであるし、「青葉」などの植物は、太陽の光がなければ成長できない。また、この名前をつけたら全国唯一の校名となるため良いと思った。

委員

私は「青葉」、「せせらぎ」、「太陽」を選んだ。「大場」は、この地域の名前だということを知らない人がいるため、その都度、説明しなければならぬという難点はあると思う。あと、校章にすることなども考えると「大場」は外しても良いのではないかと思った。

「青葉」は、子どもたちが伸びやかに新芽を出しながら成長していくということから良いと思った。あと、「太陽」は、校章にしやすいと思う。

委員

「大場」というのはもっと広い地域の地名であり、統合新校の位置は大場の端である。なくなった昔の名前を統合新校の校名にするというのは、どうなのかと思った。

委員

一番印象残ったのは「青葉」だが、皆さんの理由とほぼ同じである。あとは、二つの学校が一緒になるということと、オリーブと菩提樹の葉を連想し、「双葉」に入れた。また「双葉」は校

草もイメージしやすいと思った。あと、「美鳩」は、ハトは平和のシンボルであり小学校の名前としてふさわしいと思ったが、みはと公園は大和小学校の地域にあるので若宮小学校との関わりは薄いかもしれない。

委員

「美鳩」と妙正寺に「川」を付け加えて「妙正寺川」を選んだ。私は、川に悩まされたこの地域に美鳩橋がかかったというイメージがあり、子どもがこの地域を巣立っていくという姿から「美鳩」が良いと思った。また、シンボルもつくりやすいと思った。

「妙正寺川」については、穏やかさとともに厳しさとか力強さを持つイメージから選んだが、哲学堂に妙正寺川運動広場があるので違う地域にも関連しているのだと思った。

委員

新しくせせらぎ公園ができ、その公園もこれから浸透していけば地域性をもたらしてくれると思い「せせらぎ」を選んだ。また、「妙正寺川」も良いと思ったが、川が長く範囲が大き過ぎる。小学校は読み間違えることがないように校名が良いと思っているため、一番良いのは「せせらぎ」である。

委員

子どもたちが学校の歴史を振り返ることができるので、両校が統合して一つの学校になったことから「双葉」になったという考え方でも良いのではないかと思い「双葉」を選んだ。あと、公園の名前であればのちまで残ると思い、「せせらぎ」と「美鳩」を選んだ。「大場」についてだが、やはり「だいば」と聞くとお台場のイメージが強いので、どうなのかなと思った。

委員

私が選んだのは「せせらぎ」、「双葉」、「美鳩」であるが、話を聞いていて「せせらぎ」は、響きはきれいだけれども、小学校の名前としてはどうなのかなと思った。また、小さな芽が出てきて、それが大きく育つという可能性を込めて「双葉」も良いと思った。

みはと公園は、若宮小学校の子どもたちに関わりが薄いかもしれないが、小さな子どもからお年寄りまで利用している。そういう明るいイメージのある公園が地域にあり、平和のシンボルでもあるハトから、地域も学校も平和であって欲しいという思いで「美鳩」を選んだ。

委員

妙正寺川が最終的には東京湾に注がれるように、子どもたちも成長して大きなところに注がれる水の流れのようになって欲しいと思い「せせらぎ」を選んだ。「大場」というと何か強いイメージがあり小学校の雰囲気ではないし、地名もそこまで浸透していないと思う。やはり小学校は優しさもあって欲しいので「青葉」か「せせらぎ」と思っている。

委員

私は、毎日楽しみに通っていけるような学校が一番良い学校なのだと思うし、子どもたちが輝いているとか、夢を持って切磋琢磨しながら成長していく、そういった願いを校名に込められたら良いと思い「かがやき」と「夢」を選んだ。あと「夢小」という響きも良いし、こんな学校名は他にないというところが逆に良いと思った。

あと「妙正寺川」を選んだが、地域の人たちも含めて妙正寺川と触れ合う機会が少ないと思う。そういうことが妙正寺川を愛する気持ちがなかなか芽生えない一つの要因だと思い、それを校名にするのは、どうなのかなと思った。

委員

私は、日本全国どこにでも当てはまるような名前の小学校よりも、この地元を愛して地元のことを好きになるという観点から「大場」が良いと思う。若宮二丁目は「大場」という地名になっていた時期があり、この一帯の地域を考えるとふさわしいのではないかと思った。

皆さんの意見を聞いて、統合新校への思いを表した校名でも良いかと思ったが、自分としては、郷土を愛して郷土から日本を背負って世界に羽ばたいていくような子どもをイメージしているので「大場」が良いと思った。

「妙正寺川」は、平和の森小学校が開校するときにも候補として挙がっていたので、地元と言

いながらも地元ではないという印象がある。

委員

私も地域に関係する名前がいいと思ったが、「妙正寺川」は範囲が広すぎる。「せせらぎ」については、小学生が成長する姿と、せせらぎが大きな川になり海に注ぎ込んでいくイメージが合うので良いと思った。中野区立せせらぎ小学校という響きも良いと思ったし、日本中どこにもないという気もした。また、「朝日」は、朝日がのぼるところで子どもたちが日を浴びている姿がイメージでき、そのイメージは校舎の位置が変わっても同じだと思い良いと思った。

委員

私は地元に関係する名前がいいと思ったが、「妙正寺川」は範囲が広すぎる。「せせらぎ」については、小学生が成長する姿と、せせらぎが大きな川になり海に注ぎ込んでいくイメージが合うので良いと思った。中野区立せせらぎ小学校という響きも良いと思ったし、日本中どこにもないという気もした。また、「朝日」は、朝日がのぼるところで子どもたちが日を浴びている姿がイメージでき、そのイメージは校舎の位置が変わっても同じだと思い良いと思った。

私は地元に関係する名前がいいと思ったが、「妙正寺川」は範囲が広すぎる。「せせらぎ」については、小学生が成長する姿と、せせらぎが大きな川になり海に注ぎ込んでいくイメージが合うので良いと思った。中野区立せせらぎ小学校という響きも良いと思ったし、日本中どこにもないという気もした。また、「朝日」は、朝日がのぼるところで子どもたちが日を浴びている姿がイメージでき、そのイメージは校舎の位置が変わっても同じだと思い良いと思った。

委員

地名に由来した校名は地域に愛されるし、「大場」というのは、統合新校とはいえ歴史を感じさせる校名だと思った。

あと、これから伸びていくところや、新しい学校であるがオリーブと菩提樹など両校の歴史が土台にあるという意味で「双葉」も良いのではないかと考えた。

委員

私も地域性から「大場」、「美鳩」を選んだ。「大場」の読みづらさはあまり気にしなくてもいいのかなと考えている。「美鳩」は、若宮小学校の子どもにはあまり馴染みがないのではないかと考えた。個人的に子どもたちはみはと公園で遊んでいたのが馴染みがある。非常に環境も良く立地にならなっていることと、ハトが平和のシンボルで翼を持っていることから、すごく児童のイメージに合うと思った。

あと、地名と同じように自分が入学して卒業した学校の歴史を踏まえることも一つの教育と思い「双葉」を選んだ。

委員

新しい学校から子どもたちが未来に向かって進んでいくのは当然なのだが、やはり歴史があって現在があり、そして未来へ進んでいくというところから考えて、この地域の古い地名である「大場」がふさわしいのではないかと考えた。

委員長

ひととおり、皆さんの意見を聞いたが絞り込みについて意見はあるか。

委員

皆さんの意見を聞いたところ、子どもたちの成長を校名に込めるといった意見と、地名などの地域性から校名を選ぶという意見に分けられると思う。その二つの軸でいくつか候補を絞り込み、その後どんな学校にしていくかという議論を深めていく中で、校名としてふさわしいものを取りまとめていけば良いのではないかと考えた。

委員

さっきまでの発言の中で名前が挙がっていないものは候補から外してはどうか。

委員

意見を聞いて違う校名が良いと思った委員もいると思うので、校名が挙がらなかったからといって単純に外して良いのだろうか。

委員

挙がらなかった校名はあるわけだから、それを候補から外していかないと絞っていけないのではないかと考えた。

委員長

意見が出なかった校名は、「大空」、「希望〇〇」、「新星」、「花咲」、「春風」、「妙正寺」であった。「双葉」、「美鳩」については、漢字・平仮名の議論が特になかったので、とりあえず両方残しておくで6個が候補から外れ13個まで絞り込むことができる。

委員

私は新しい学校の名前を決めるに当たって、ありきたりの名前では良くないのではないかと思った。例えば「青葉」、「朝日」、「双葉」の趣旨はわかるが、どこにでもある。あと、「美鳩」はどうしても幼稚園のイメージになってしまうため、小学校にふさわしいかどうか。そういった意見についてはどう思うか。

委員

現時点である程度候補を絞り込む必要はあると思う。例えば、「妙正寺川」は、地域に関係するが範囲が大きいということであれば候補から外し、「美鳩」は幼稚園のイメージが強いということであれば候補から外して良いのではないか。

委員

先ほどの各委員の発言をまとめると「青葉」、「せせらぎ」、「大場」、「双葉」、「美鳩」にかなりの割合の委員から意見が出ていた。この5つのどれかに絞るという方法もあると思うが、候補に残す校名を投票するという方法もある。

委員

平仮名と漢字をそれぞれ別と考え「青葉」、「せせらぎ」、「大場」、「双葉」、「ふたば」、「美鳩」、「みはと」の7つ以外を候補から外してはどうか。

委員

委員の意見があった校名を外す必要はないのではないか。今は各委員が良いと思った校名について特に数は制限せず意見を出していた。少数意見も尊重すべきである。

委員

確かに、良いと思う校名が1つだったから1つ意見を出すというのと、3つ意見を出すというのでは、同じにはならないと思う。

委員

それでは、先ほどの7つの校名は、単に意見が多かっただけと考えることとし、各委員が良いと思うものを投票して絞り込んではどうか。

委員

子どもの成長を校名に込めるものと、地域性を校名に込めるというものに分類されるのであれば、どちらの方向性が自分自身の思う統合新校のイメージと合うのかを持ち帰って少し考えたい。他の委員からの意見を聞いて他の校名にも心引かれる部分もあると思った。

委員

各委員の思いを聞くとイメージも膨らんで、今まで考えていなかった校名も候補として考えてみようかなということもあると思う。今日投票するというのはどうなのだろうか。

委員

やはり一番大事な校名については、時間をかけてもっと議論してもいいと思う。各委員の意見を聞いたうえで一度持ち帰り、次回も引き続き議論してはどうか。

委員長

ただ単に多数決で決めるのだったらまとめることはできるが、やはり各委員がある程度納得した形で取りまとめたい。次回の統合委員会ではなく、次々回の統合委員会で校名を取りまとめることとなっても良いのか。

事務局

校名の後には、校章、校歌についても引き続いて検討していくことになるため、次回校名を取りまとめられれば良いが、その次の統合委員会でも可能である。

委員長

それでは、今出ている校名の中から次回までに各委員が1人1校良いと思うものを選び、次回の委員会が始まる前に事務局に提出してもらおう。次回の統合委員会でその結果を明らかにし、どのように絞り込んでいくか話し合っていきたい。よろしいか。

— 異議なし —

委員長

それではそういう形で次回も引き続き協議していく。

議事(2)その他

委員長

その他について、何かあるか。

事務局

10月2日、27日、30日に実施した両校の子どもたちの交流活動について情報提供したい。当日の様子を撮った写真を回覧する。また、校長先生から当日の様子などを伺いたい。

委員

今回は、1年生、2年生、4年生が交流活動を行った。とても楽しく良い交流ができ、統合に向けてお互いの気持ちを確かめることができた。今後は2月に3年生が交流する予定である。

委員長

それでは最後に、次回の開催日程について調整したい。

— 日程調整 —

委員長

次回は2月12日金曜日の午後6時から大和小学校で開催する。

本日の統合委員会はこれで終了する。